

2010年10月19日  
マックスバリュ南東北株式会社

## お客さまへのお詫びとお知らせ

このたび、弊社マックスバリュ名取店、マックスバリュ鹿島台店、マックスバリュ多賀城鶴ヶ谷店、旧マックスバリュ須賀川店の4店舗におきまして、冷凍・冷蔵で入荷した原料を使用した畜産商品の一部で、当社の定める社内ルールに基づく消費期限表示基準を1日から3日超過して販売していたことが、社内調査の結果判明いたしました。

本件については、本年3月、マックスバリュ名取店におけるルール違反が判明し、同店においては直ちに是正いたしました。このたび、あらためて全店調査を行いましたところ、他の3店でも同様のルール違反が判明いたしました。

全店における実態の把握、ならびにお客さまへのお知らせが大変遅くなりましたことを謹んでお詫び申し上げます。

なお、畜産商品以外では、社内ルールの逸脱がなかったことを確認しております。

これは、商品化ルールの不徹底、ルールに対する遵守意識の希薄さ、コンプライアンスの教育不足が原因であると反省いたしております。

当社は、あらためて全従業員への教育を徹底していくとともに従業員の声が経営に生かせる組織風土を醸成していくためにさまざまな取組みを行ってまいります。

お客さまにご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、重ねて深くお詫び申し上げます。

### 【記】

#### 1. 社内ルールの逸脱について

##### マックスバリュ名取店

- |      |   |
|------|---|
| 販売期間 | 2008年9月～2010年3月   |
| 該当商品 | <ul style="list-style-type: none"><li>・国産若どりささみ（解凍）</li><li>・国産若どり手羽元（解凍）</li><li>・おつまみ唐揚げ（和風しょうゆ味） 原産国名／タイ</li><li>・ハンバーグステーキ</li><li>・ベーコン巻きロールキャベツ（解凍） 原料肉／タイ</li><li>・牛肉ばら味付カルビ菜炒用（解凍） 原料肉／オーストラリア</li><li>・牛肉と豚肉のサイコロ焼き（解凍・成型肉）<br/>原料肉／牛肉（豪州）、豚肉（米国）</li><li>・牛パティステーキ用（解凍・成型肉）<br/>原料肉／（牛肉）オーストラリア</li><li>・豚タン味付ねぎ塩焼き用（解凍） 原料肉／アメリカ</li><li>・豚肉ネックねぎ塩味付焼肉用（解凍） 原料肉／アメリカ</li><li>・豚サガリ味付みそ焼用（解凍） 原料肉／国産</li><li>・ハッシュドポテト 原産国名／アメリカ</li><li>・ポーク皮なしあらびきウィンナー 原産国名／アメリカ 計13品目</li></ul> |

### マックスバリュ鹿島台店

販売期間 2002年9月～2008年8月の間の火曜日

該当商品 冷凍原料肉

- ・国産若どりささみ（解凍）
- ・国産若どり手羽元（解凍）
- ・カナダ産豚肉ばらスライス（解凍）
- ・豚肉ロース味付生姜焼用（解凍） 原料肉／アメリカ
- ・牛肉ばら味付カルビ菜炒用（解凍） 原料肉／オーストラリア

冷蔵原料肉

- ・アメリカ産豚肉ロースとんかつ・ソテー用
- ・アメリカ産豚肉ロース生姜焼

計7品目

### マックスバリュ多賀城鶴ヶ谷店

販売期間 2007年1月～2010年8月

該当商品

- ・国産若どりささみ（解凍）
- ・国産若どり手羽元（解凍）
- ・おつまみ唐揚げ（和風しょうゆ味） 原産国名／タイ
- ・牛肉と豚肉のサイコロ焼き（解凍・成型肉）  
原料肉／牛肉（豪州）、豚肉（米国）
- ・ハンバーグステーキ

計5品目

### 旧マックスバリュ須賀川店

販売期間 2007年4月～2009年9月

該当商品

- ・豚肉ロース味付生姜焼用（解凍） 原料肉／アメリカ
- ・牛肉ばら味付カルビ菜炒用（解凍） 原料肉／オーストラリア
- ・カナダ産豚肉ばらスライス（解凍）

計3品目

## 2. 再発防止の取り組みについて

### 新たに実施していく再発防止策

- ①従業員に対する商品化作業のルールの教育を担当者会議を通じて実施してまいります。（毎月）
- ②店舗責任者による商品化作業のルールのチェック体制を確立してまいります。（毎日2回以上）
- ③本部スタッフによる商品化作業のルールに関する教育を社内教育セミナーのカリキュラムに組み入れて実施してまいります。（年5回以上）
- ④取締役会での早期リスク確認と対処を実施してまいります。（毎月）

### 既に実施しており、今後さらに強化していく再発防止策

- ①本部スタッフによるコンプライアンスに関する業務監査を実施してまいります。（月2店舗以上）
- ②商品部による店舗巡回の頻度を高め、教育と指導の体制を高めてまいります。（毎週）
- ③社内の会議体の内容を見直し情報の共有化と対策の立案の機会を増やします。（毎月）

<この件に関するお問い合わせ先>

マックスバリュ南東北㈱人事総務部 電話：022-726-6652 （10：00～18：00）